



CITY OF NAGASAKI

メッセージ

このたび、「アースキャラバン2017」が開催されるにあたり、長崎市民を代表してメッセージをお送りいたします。

皆様におかれましては、人種、宗教、国籍、思想信条などを超えて、地球に生きるすべてのいのちを大切に、核兵器や戦争のない平和な世界の実現を目指して、他文化を理解し相互理解を深めることを目的に、本事業に取り組まれていることに深く敬意を表します。

1945年（昭和20年）8月9日午前11時2分、長崎の街は一発の原子爆弾により、一瞬にして壊滅的な被害を受けました。すさまじい爆風と熱線により7万4千人の尊い命が奪われ、7万5千人が負傷しました。あの日から72年目を迎える現在も多くの方々が放射線による後障害に苦しんでいます。

この核兵器の非人道性の認識が高まり、国際社会においては、核兵器禁止条約制定に向けて大きく動いています。これは核兵器廃絶の歴史上、画期的なことです。しかし、この条約ができれば即座に核兵器がなくなるわけではありません。

この条約を活かし、被爆者をはじめ、人類共通の願いである「核兵器のない世界」への道筋を示すためには、次の世代である私たち一人ひとりが、できることは何かを考え、一歩を踏み出すことが必要なのです。

この「アースキャラバン2017」にご参加の皆様は、まさに、自分のできる一歩を踏み出された方々だと思います。これからも核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けて、長崎市民ともに歩まれることを期待いたします。

最後に、「アースキャラバン2017」のご成功と、皆様の今後ますますのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

平成29年6月

長崎市長 田上 富久

この要旨は長崎市に寄贈された折り鶴を再生したものです。